

第63回「祖母山」大パノラマの山頂で山開き

～ 大分県・宮崎県境にそびえる「祖母山」山頂で登山シーズン期間中の安全を祈願 ～

令和元年5月3日、第63回「祖母山」山開きが、祖母山山開き実行委員会主催により山頂（標高1,756m）で開催されました。当日は、青空のもと県内外から約1,000人が山頂を目指し、当署からは、坂本大分森林管理署長、古閑総括事務管理官、井上主任森林整備官、山本地域統括森林官、上村首席森林官の5名が出席しました。

はじめに、川野実行委員会会長（豊後大野市長）から、「平成29年6月、ユネスコエコパークに登録されたこの雄大な自然を大切に守りながら、多くの方に訪れていただき楽しんで欲しい」と挨拶がありました。

山頂祭では、坂本大分森林管理署長も玉串奉奠を行い、登山シーズン期間中における登山者の安全を祈願しました。

この日、最高齢男性は84歳、女性は70歳、最年少男性は6歳、女性は6歳の方で、実行委員会から記念品が贈られました。

また、山頂祭終了後には先着1,000名に記念品が配布されました。

福岡県から訪れた登山者は、早朝5時30分から登り、「アケボノツツジの花を見たくて来ました」と話していました。

また、子ども（当時2歳）を救出して一躍有名となった「“スーパーボランティア”尾島さん」の姿もあり、祖母山の雄大な自然を満喫されていました。

現在、山頂周辺はアケボノツツジやヤマボウシが咲き、令和元年の新緑を迎える大自然を満喫することができます。



坂本大分森林管理署長（中央）玉串奉奠



川野 実行委員会会長
（豊後大野市長（中央））



“スーパーボランティア”尾島さんも山頂へ



祖母山と鮮やかに咲くアケボノツツジ